

テーマ：基金に関する事業

【漁業経営セーフティーネット構築等事業基金】

【漁業経営セーフティーネット構築等事業】

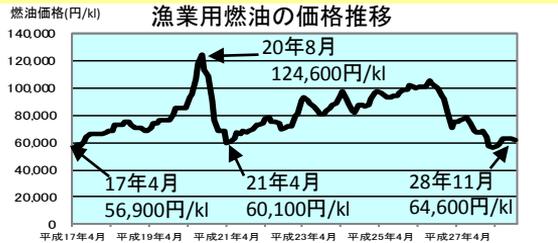
平成28年11月12日

水産庁

本事業(基金)の概要

事業概要

- 漁業経営セーフティーネット構築事業については、漁業者・養殖業者と国の拠出により、燃油価格や配合飼料価格が上昇したときに補填金を交付し、経営の安定を図る目的に、平成22年度より開始。
- 本事業は、「弾力的な支出が必要であることその他の特段の事情があり、あらかじめ当該複数年度にわたる財源を確保しておくことがその安定的かつ効率的な実施に必要」であり、「不確実な事故等の発生に応じて資金を交付する事業」に該当するため、基金方式で運営。

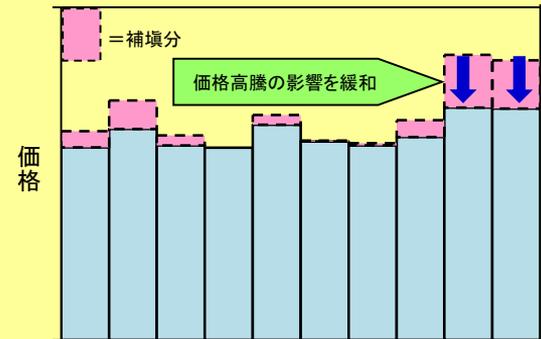
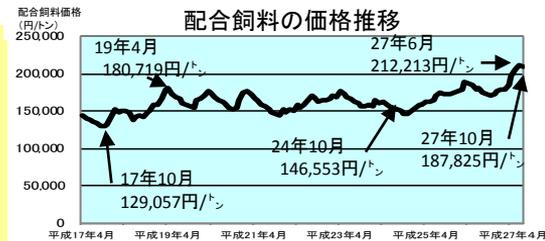


- 燃油価格や配合飼料価格の上昇に備えて、漁業者と国又は養殖業者と国が資金を積立てます。
- 燃油については原油価格、配合飼料については配合飼料価格が一定の基準を超えて上昇した場合に、漁業者や養殖業者に対し、補填金が支払われます。

【 補填基準 】

7中5平均値

(直前7年間の価格のうち、高値1年分と低値1年分を除いた5年分の平均値)



平成29年度末までに見込まれる補填金額の試算方法

平成28年10月17日に行われた行政改革推進事業外部有識者ヒアリングでの外部有識者からの指摘を踏まえ、29年度末までに見込まれる補填金額を改めて試算。

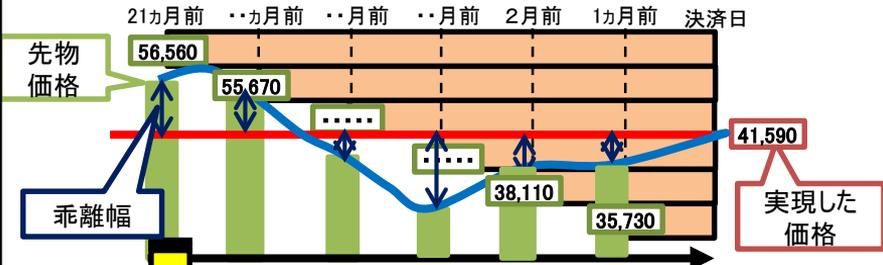
燃油

試算の方法

- ① 毎年概算要求検討(7月1日)時点で、7月～翌年度末(21ヶ月間)までに必要となる補填金国費分を見積もる。
- ② リスクファクターとなる原油価格については、過去の先物市場価格と実現した原油価格の乖離幅の分布と試算時の先物市場価格より、その21ヶ月分の原油価格と必要国庫負担額を1万通りシミュレート。
- ③ 備えるべき国庫負担額のVaRを算出。

実際に実現した価格と、1か月前～21ヶ月前の先物価格との乖離幅を算定(過去10年分)

【実現した価格と先物価格のイメージ】



10年分の乖離幅データから、平均・標準偏差を算定

	平均	標準偏差
1ヶ月前	167	5,510
...ヶ月前
21ヶ月前	-131	18,873

計算した平均・標準偏差から、平成30年3月までの価格の予想値(データセット)を10,000通り作成し、VaR算定

- 試算後21ヶ月後までの先物価格が、各々算定された平均、標準偏差の正規分布に従うと仮定し、予想価格のセットと必要国庫負担額を1万通りシミュレート。
- 国庫負担額の大きい順に並べ、VaRを算定。

【シミュレーション結果】

データセット番号	将来の原油価格の予想値(円/KL)					国庫負担額(円)	順位
	平成28年7月	平成28年8月	...	平成30年2月	平成30年3月		
23	33,131	37,710	...	42,173	61,988	13,207,367,860	1
4328	27,275	26,855	...	11,528	13,723	12,976,994,685	2
1351	28,473	30,075	...	19,443	16,449	12,896,654,759	3
...
9376	31,570	35,022	...	18,207	29,124	7,545,456,756	501
...
9334	31,570	35,022	...	18,207	29,124	0	10000

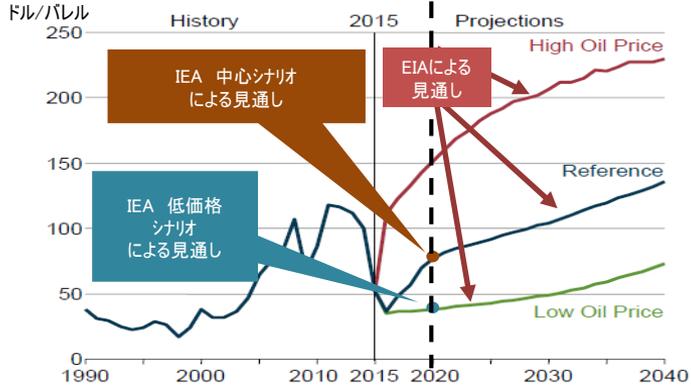
501番目の予想補填金額を、7月1日時点で基金に備えるべき金額とする

次項へ

平成29年度末までに見込まれる補填金額の試算方法

燃油

【参考：国際エネルギー機関(IEA)及び米国エネルギー情報局(EIA)の価格見通し】



出典：
EIA「Annual Energy Outlook 2016」(2016年8月)
IEA「World Energy Outlook 2015」(2015年10月)

平成29年度末までに基金に保有すべき、
補填金の国庫負担額は、**約75億円**と算出

配合飼料

配合飼料価格(輸入魚粉価格)に影響を与える主な要因

- ・ ペルーアンチゾビー動向・海洋環境の変化(エルニーニョ/ラニーニャ)、政府の資源管理方針
← 当面はラニーニャが続くことから、比較的安定した漁獲枠設定が継続される見込み。
- ・ 為替変動・輸入魚粉価格に直接的な影響
← 不明
- ・ 魚粉消費国の需要動向・中国等養殖を行っている国等の需要動向
← 長期的には増加傾向だが、短期的な変動は小さい。

調査手法

- 材料
- ・ 配合飼料価格データ・見通し：業界からの聞き取り調査
 - ・ 輸入魚粉データ・見通し / 漁獲枠：貿易統計・ペルー漁業動向調査等
 - ・ 為替データ：為替業務銀行の公表データ
- 方法
- ・ 標準シナリオ：上記の「材料」(為替データ除く)をもとに、半期ごとに設定
 - ・ 上昇リスクシナリオ：「標準シナリオ」に対して不確実な円安リスク(※)を考慮
- ※：過去10年間の為替データから算出したヒストリカルボラティリティ

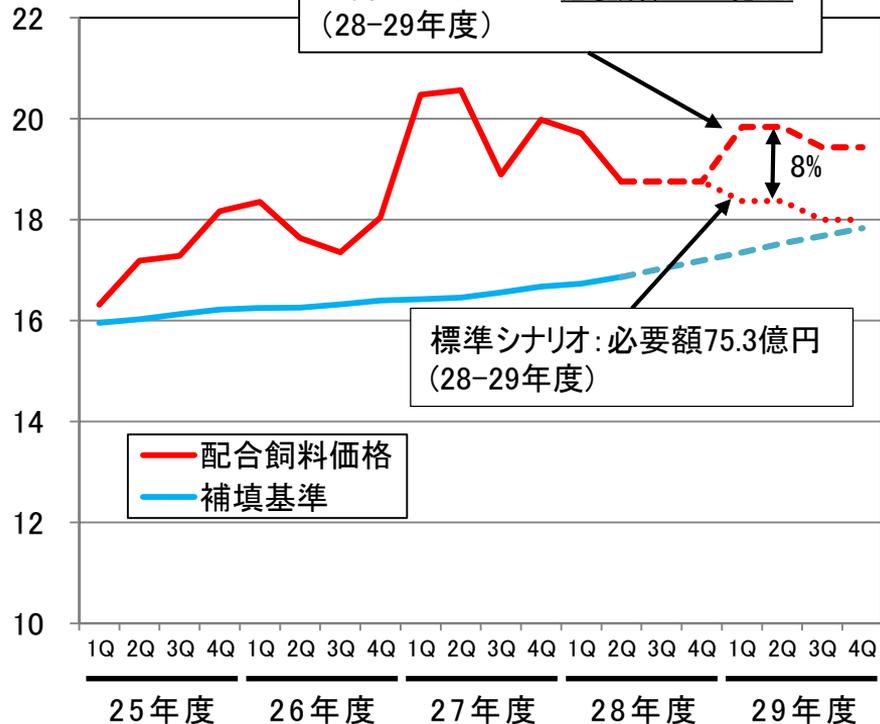
次項へ

平成29年度末までに見込まれる補填金額の試算方法

配合飼料

分析結果

万円/ト



補填に必要な国庫負担額合計

- ◆ 平成28年7月以降、29年度末までに基金に保有すべき国庫負担額

燃油	75億円
配合飼料	110億円
合計	185億円

- ◆ 平成28年6月末時点の基金保有額
(国費相当額)

161億円

**平成29年度末までに24億円
不足見込み**